

「馬場小室山遺跡フォーラム」第79回ワークショップ

【 原動力！パブリック・アーケオロジー2017 】

馬場小室山遺跡のパブリック・アーケオロジーからみえてきた現代社会との「かわり」と未来への新たな挑戦

馬場小室山遺跡研究の新展開では限界(知識・経験・思考・領域等)からの知的解放を目指します！

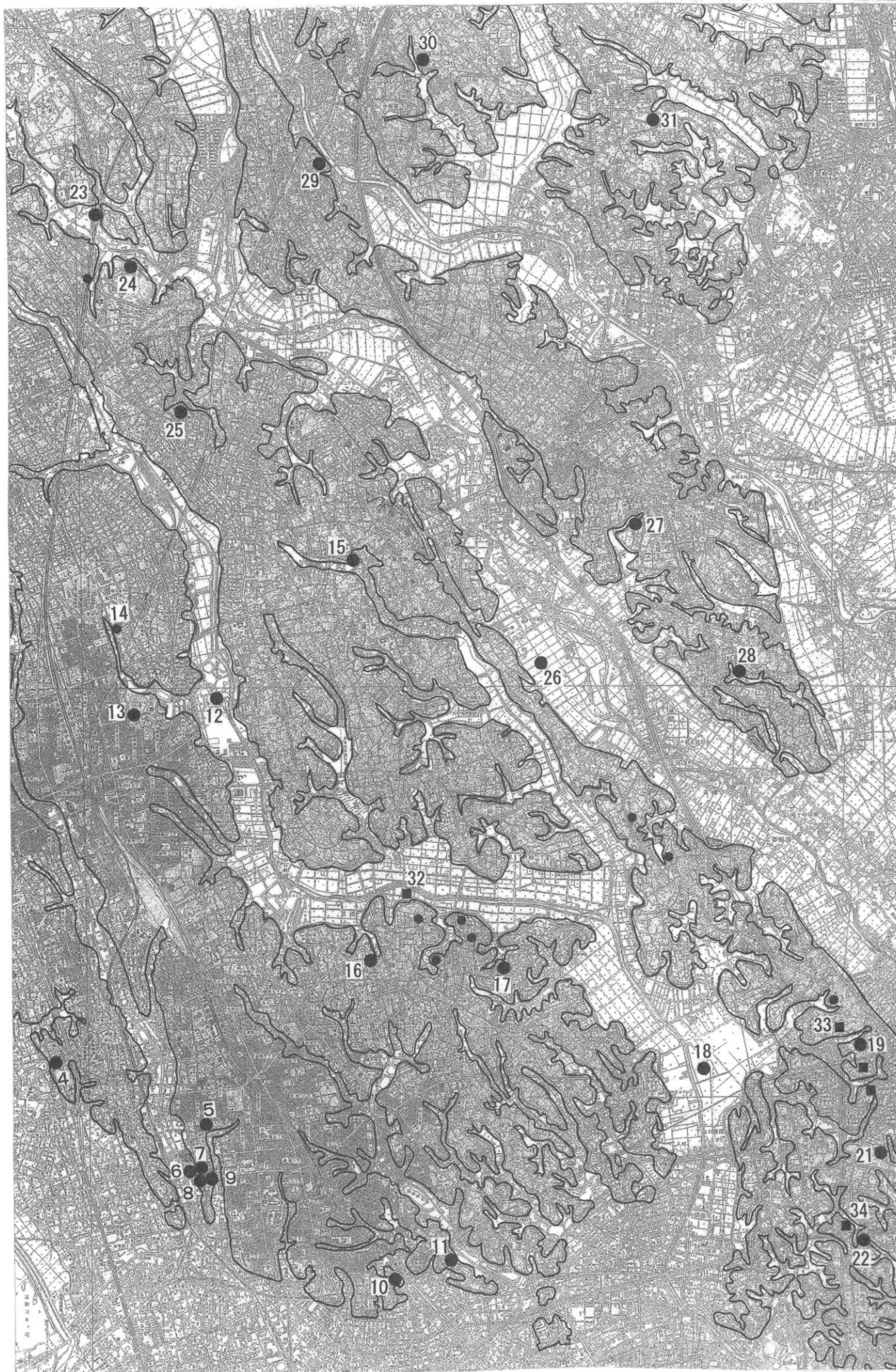
＜馬場小室山遺跡研究の新展開—縄文塚(「環堤土塚」集落)の遠隔生業往還と広域流通社会からの大転換とは？—＞

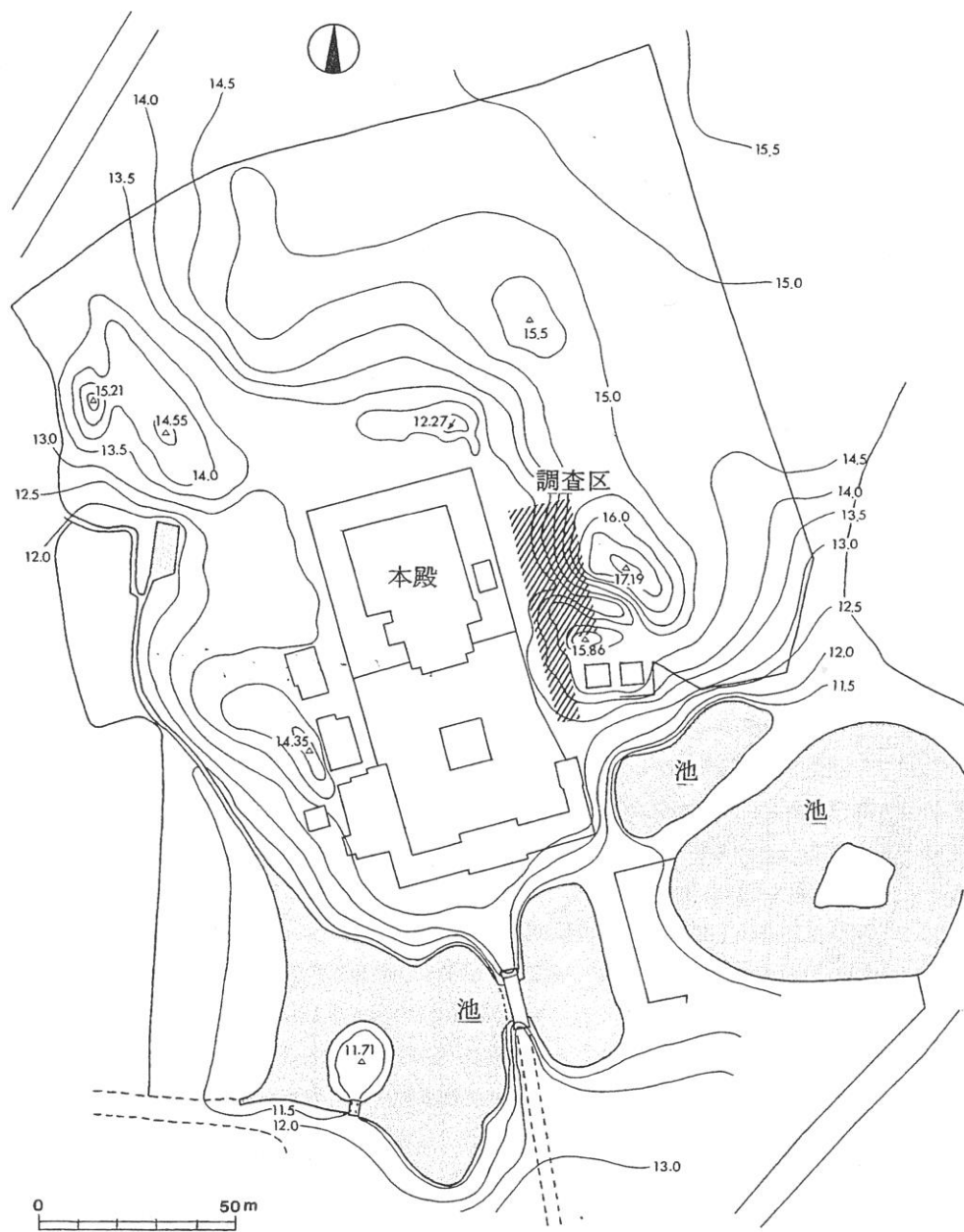
新展開1	「ムロさま」の 「限界領域」打破	馬場小室山遺跡「第51号土壇」から展望する縄文時代の葬式と土器社会論—「ムロさま」の「累積型改新土坑墓」から探る「追葬型再葬壺棺墓」への途— (ムロ1)寺野東遺跡の「積葬墓」(「SX036埋設土器遺構」)に注目 (ムロ2)青森県の「再葬壺棺墓」／列島晩期の再葬動向／「金田一型土器棺墓」／土井ヶ浜遺跡の「弥生再葬墓」 (ムロ3)福島県鳥内遺跡の晩期終末の再葬壺棺墓と弥生時代前期の合口土器棺による「積葬墓」の土器社会論 (ムロ4)鳥内遺跡の弥生時代前期から中期初頭の再葬壺棺墓に観る北方砂沢式系文化から「御代田式」へ、そして中部条痕文系土器による交替劇の様相 (ムロ5)中部から北関東西部における前期の再葬壺棺墓から中期初頭の木棺墓への移行を「阿武隈文化」と比較し、東関東や南奥と関係の深い前期の再葬壺棺墓として田川流域の栃木県芝工業団地内遺跡の様相を把握する。
新展開2	「オムちゃん」から 「ムロさま」への 「限界知識」打破	土偶から土面／顔面付土版／人面文土器等の関係、そして容器形土偶／顔壺へ (オム1)泉坂下人面イデオロギーの拡散ネットワーク (オム2予告)「人面文インダストリー論」による亀ヶ岡型変相イデオロギーの出現 (オム3予告)「ムロさま」から再葬壺棺墓の顔壺へ
新展開3	「シオ(塩)もん」の 「限界経験」打破	「製塩土器」の確立から製塩遺跡の操業へ、爆発的普及の晩期社会と「定住制」の定着 (シオ1)定住制社会から生業往還としての製塩遺跡へアプローチ (シオ2)アマモやヨシ(アシ)の「草木灰」は濃縮工程での使用か？ (シオ3)製塩遺跡の操業タイプ(短期型と長期型)と燃料問題 (シオ4)下布田遺跡の「製塩土器」在地性は古鬼怒湾型変遷との乖離現象にあり！ 枯れたアマモを特定の場所に集めて乾燥させる「塩草場」の存在、及び天日と地熱(熱砂)利用の採鹹工程に相応しい「製塩土器」鉢形態の確立 (シオ5)宇都宮市刈沼遺跡からは寺野東遺跡よりも多数の「製塩土器」が検出。鬼怒川流域の口縁部形態は下布田遺跡とは大きく異なり、古鬼怒湾型変遷の1系列である口縁部水平ヘラカットが定着
新展開4	「タマきみ(君)」の 「限界思考」打破	ヒスイ製勾玉・小玉の晩期流通(関東各地域拠点でも製作)と弥生時代中期中葉「再葬壺棺墓」への流通実態(上越周辺北信経由)解明 (タマ1)熊谷市飯塚南遺跡の土壇出土ヒスイ製勾玉と飯塚遺跡群

1. 【縄文時代中期の「見沼文化」】： 中期の不思議な葬式、及び高級狩猟民社会における栽培管理の位相

- ・「ムロさま」の第51号土壇に見られる風習は行く末と同時に由来も検討します。検討のポイントは、(1)葬式専用の大形の土坑や堅穴施設を構築し、そこに(2)遺骸や遺骨を追葬し管理する奉祀形態の有様です。再葬墓に特徴的な遺骨からではなく、何故遺骸からで良いかは、追葬のタイミングで従前の遺骸は白骨化への態様示すからです。具体的な要件は専用施設での人骨集積で、姥山貝塚の著名な5体の中期人骨を検出した堅穴は住居ではなく、渡辺新により公共に資する安置専用施設と導出されました。
- ・中期の「オムちゃん」研究からの問いかけからは、同じ「土器型式」のむらにもかかわらず、土偶のある社会(武蔵野台地)とそうでない社会(馬場小室山遺跡など大宮台地)の関係に目を向けます。これはマメ類の有無にも共通した視点となり、高級狩猟民にとり、素朴な栽培は社会的結合から見て生業文化の下位に位置付けられるリスク・マネジメントの可能性が高く、四季を通じた山海の恵み入手に不安定な地域社会の「マメバ」頼みが由来と想定され、漆や堅果類の多年生栽培管理に加えて一年生栽培が追加されます。
- ・地域社会の在り方として最近報告された茨城県常陸大宮市滝ノ上遺跡からは充実した「大木8a式」期土器群が出土し、中期中葉の文化系統の複雑な交流動態が顕著です。果たして「マメバ」の形成や如何？

2. 【氷川神社遺跡の「環堤土塚」】： 水場と数個のマウンド、そしてスリパチ広場による景観を確認！





【図6】氷川神社遺跡の「環堤土塚」地形
(原図:大宮市教育委員会 1994)



3.【「人面文インダストリ論」による亀ヶ岡型変相イデオロギーの出現】：土偶と土面(土製仮面)の違いから！



55 遮光器土面 晩期 秋田県ニッ井町麻生遺跡
東京大学総合研究資料館



67 土面 晩期 岩手県一戸町時前遺跡
一戸町教育委員会



68 土面 晩期 埼玉県羽生市発戸遺跡
東京国立博物館



遮光器土偶 晩期 群馬県板倉町板倉遺跡
東京大学総合研究資料館



4.【その他情報交換など】：自由な意見交換とワイン・アーケオロジー

4-1.『さいたま・水とみどりのアカデミーⅣ 平成27年度講義要約』:会費納入への御礼として配布中。

4-2. 見沼区小深作遺跡(加田屋川最奥部の縄文時代後晩期の集落)のその後

4-3. 今後の予定

(1)「—ing NOW—展:時空にボンヤリボンヤリ…共通のX」(4/4(火)ー4/9((日))

於:浦和美術館/展示室C・D 井山紘文ほかグループ展

(2)馬場小室山遺跡のクリーンアップと青空考古学教室(5/4(みどりの日))

(3)井山紘文個展(9月初旬 於:柳澤画廊/詳細は別途)

(4)飯塚邦明ジャズピアノ・コンサート(11/19(日)) 於:浦和文化センター/詳細は別途

4-4. その他

以 上